

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	動作学 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学期及び曜時限	後期	教室名	903教室
担 当 教 員	横山 想				
実務経験とその関連資格	理学療法士として一般病院に勤務し、急性期整形外科疾患を中心に、回復期、生活期(外来、訪問リハビリ)を8年経験。 臨床に必要な知識と技術を補うため、整形や中枢神経疾患を中心に理学療法士会や外部・院内勉強会に参加。生活期患者の生活習慣指導の一環として栄養資格取得。				
《授業科目における学習内容》					
理学療法士の役割は基本的動作の改善にあります。ADL動作、基本的動作とそのバイオメカニクスの基礎について学びます。					
《成績評価の方法と基準》					
小テスト 25% 定期テスト75%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
●石井慎一郎:動作分析-臨床活用講座-バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践(MEDICAL VIEW) ●山本澄子:基礎バイオメカニクス-第2版-(医歯薬出版株式会社)					
《授業外における学習方法》					
高校物理(力学)の復習をしておいて下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
動作観察・分析は理学療法士の専門性の大きな1つです。その基礎となる授業です。主体的に学んで下さい。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	基本的動作がわかる。動作をみる目的を理解する。	教科書、配布資料		
	各コマにおける授業予定	基本的動作を学ぶ、演繹的・帰納的問題解決方法について学ぶ。			
第2回	授業を通じての到達目標	日常生活活動動作がわかる。	配布資料	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	日常生活活動動作について学ぶ。			
第3回	授業を通じての到達目標	正常な寝返り動作がわかる。寝返り動作の相分けができる。	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	正常な寝返り動作について学ぶ。			
第4回	授業を通じての到達目標	正常な起き上がり動作がわかる。起き上がり動作の相分けができる。	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	正常な起き上がり動作について学ぶ。			
第5回	授業を通じての到達目標	正常な起立動作がわかる。起立動作の相分けができる。	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	正常な起立動作について学ぶ。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	正常な歩行動作がわかる。歩行動作立脚相の相分けができる。	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	正常な歩行動作立脚相について学ぶ。		
第7回	授業を通じての到達目標	正常な歩行動作がわかる。歩行動作遊脚相の相分けができる。	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	正常な歩行動作遊脚相について学ぶ。		
第8回	授業を通じての到達目標	ロッカーファンクションを理解する。	教科書	前回の復習
	各コマにおける授業予定	ロッカーファンクションについて学ぶ		
第9回	授業を通じての到達目標	歩行時の関節運動と筋活動を理解する。	教科書、配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	歩行時の関節運動と筋活動について学ぶ。		
第10回	授業を通じての到達目標	寝返り・起き上がり・起立・歩行動作のシーケンスが言える。	教科書、配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	これまで習った基本的動作のまとめ		
第11回	授業を通じての到達目標	動作に必要な物理学を理解する。	教科書、配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	てこ、重心、床反力、支持基底面について学ぶ。		
第12回	授業を通じての到達目標	てこの計算ができる。	教科書、配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	てこの計算について学ぶ。		
第13回	授業を通じての到達目標	モーメントを理解する。	教科書、配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	主に外的・内的モーメントについて学ぶ。		
第14回	授業を通じての到達目標	運動時のモーメントの変化を理解する。	教科書、配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	運動時にモーメントが変化することを学ぶ。		
第15回	授業を通じての到達目標	正常な基本的動作が説明できる。バイオメカニクスを理解する。	教科書、配布資料	前回の復習
	各コマにおける授業予定	まとめ		